

NPO 法人

全日本語りネットワーク

〒376-0045 群馬県桐生市末広町 11-1 JR 駅構内
JR 桐生駅構内 桐生市民活動推進センター
(Fax) 0277-47-4066 (振替) 00130-2-114808
(E-mail) welcome@japankatarinet.jp
(HP) <http://japankatarinet.jp/>

2012. 8. 10 発行

ニュース

「語る喜びと聞く楽しみを分かち合おう！今、大切に伝えたい、語りの世界」

NPO 法人全日本語りネットワーク理事長 井上幸弘（山形県朝日町）

平成 24 年 5 月 26 日の全日本語りネットワークの総会後の理事会において、佐藤涼子理事長に代わって私が理事長に就任することになりました。重責であります。理事や会員の皆様のご協力・ご指導を得ながら理事長職を全うするつもりであります。よろしくお願い申し上げます。

さて、全日本語りネットワークの活動と語りの文化が社会的に認知されることを目指して、NPO 法人化したのは平成 22 年の 2 月のことでした。前回の第 10 回全日本語りの祭りは、法人化して初めて行ったものであり、新庄の方々の心のこもったおもてなしは、参加者の感動を呼び起こしました。語られた話もバラエティーに富んだものであり、「語り文化」の広がりとおもしろさを感じることができました。

第 11 回全日本語りの祭りは、今年の 10 月 4 日から 5 日まで岡山県倉敷市で開催されます。400 名を超す申し込みがありました。皆様の満足が得られるよう十分に準備をしております。第 11 回の祭りを、第 10 回の祭りに負けず劣らずの内容としていくためにも、参加者の皆様の積極的な関わりを期待しております。

ところで、平成 24 年 6 月 10 日私が関わっている山形県朝日町語りの会つむぎと宮城県多賀城市話の会との交流会が開かれました。多賀城の人からは、伝説となっている貞観地震の津波の話のほか、今回の東日本大震災の津波で家を流されたご本人が、その時の様子を語られました。初めのうちは途中で涙がでてきて語るができなくなったが、メモをみながら何回か語るうちにしだいに語るできるようになったとのことでした。現代の民話がこうして生まれ、語り継がれていくのだと思いました。

震災で被災した人が、語りをしていたおかげで、一歩前に進むきっかけとなり、実際に語りをしたり聞いたりするなかで元気をもらったとの話も聞きました。

全日本語りネットワークのスローガンである「語る喜びと聞く楽しみを分かち合おう！今、大切に伝えたい、語りの世界」を肝に銘じ、東日本大震災被災地の復興を願う第 11 回全日本語りの祭りでは語りの力を信じ、大いに語り合いましょ。

